

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公表番号】特表2008-526835(P2008-526835A)

【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-550300(P2007-550300)

【国際特許分類】

C 07C 211/27	(2006.01)
C 07C 309/29	(2006.01)
C 07C 309/19	(2006.01)
C 07C 309/30	(2006.01)
C 07C 309/05	(2006.01)
C 07C 309/04	(2006.01)
C 07C 309/01	(2006.01)
C 07C 209/00	(2006.01)
A 61K 31/137	(2006.01)
A 61P 3/04	(2006.01)
A 61P 25/24	(2006.01)
A 61P 25/16	(2006.01)
A 61P 3/10	(2006.01)
A 61P 25/08	(2006.01)

【F I】

C 07C 211/27	C S P
C 07C 309/29	
C 07C 309/19	
C 07C 309/30	
C 07C 309/05	
C 07C 309/04	
C 07C 309/01	
C 07C 209/00	
A 61K 31/137	
A 61P 3/04	
A 61P 25/24	
A 61P 25/16	
A 61P 3/10	
A 61P 25/08	

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月10日(2008.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

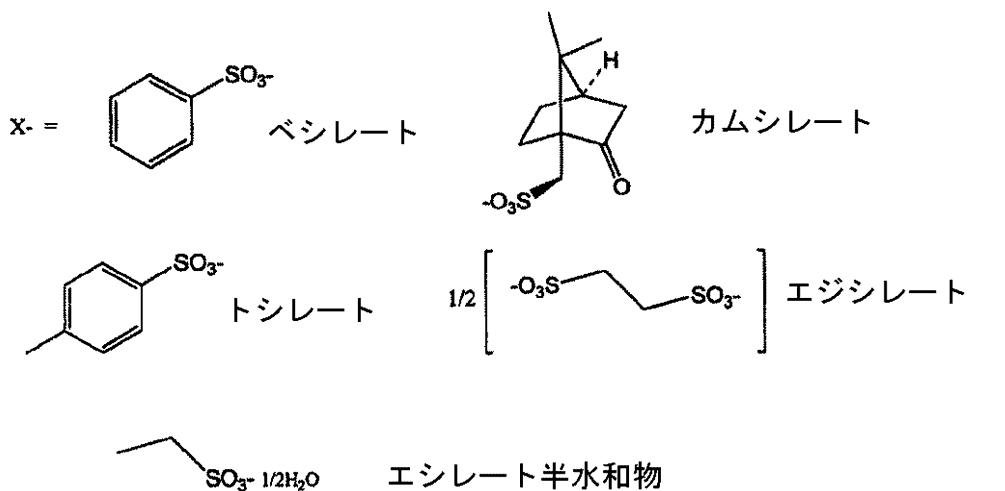
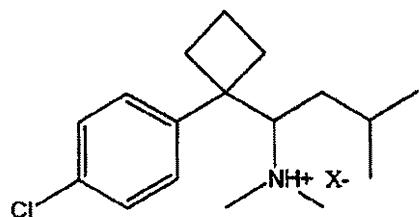
【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記化学式1の構造を持つシブトラミンのスルホン酸塩。

【化 0 0 1】

化学式 1



【請求項 2】

X線回折分析において、ピーク強度 200 以上の場合における 2θ の値が、6.6、10.9、13.4、14.5、16.2、17.1、17.4、19.7、20.1、21.4、22.0、22.7、23.5、24.6、24.9、25.7、26.6、27.3、32.9 を示すシブトラミンベンゼンスルホン酸塩であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシブトラミンのスルホン酸塩。

【請求項 3】

X線回折分析において、ピーク強度 200 以上の場合における 2θ の値が、6.7、8.1、12.5、12.8、13.3、15.0、16.0、16.6、18.4、19.0、20.0、21.3、22.5、22.8、24.2、24.7、25.0、26.6、28.3、33.8 を示すシブトラミンカンファースルホン酸塩であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシブトラミンのスルホン酸塩。

【請求項 4】

X線回折分析において、ピーク強度 200 以上の場合における 2θ の値が、6.4、11.0、11.1、12.3、12.8、14.2、16.5、17.1、19.2、19.8、21.3、22.1、24.1、24.9、26.3、26.5、27.8 を示すシブトラミン p-トルエンスルホン酸塩であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシブトラミンのスルホン酸塩。

【請求項 5】

X線回折分析において、ピーク強度 200 以上の場合における 2θ の値が、6.6、10.2、11.2、12.2、12.8、13.7、14.0、16.4、18.0、18.5、19.2、19.8、20.9、21.3、22.0、22.6、23.7、24.4、25.0、26.5、27.3、29.0、30.3 を示すシブトラミンエタンジスルホン酸塩であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシブトラミンのスルホン酸塩。

。

【請求項 6】

X線回折分析において、ピーク強度200以上の場合における2の値が、8.0、10.4、11.1、11.7、12.7、14.9、16.0、16.5、17.6、18.0、18.4、20.1、20.8、22.3、23.2、23.4、23.6、24.1、25.0、25.9、27.2、28.6、30.0、33.8を示すシブトラミンエタンスルホン酸塩半水和物であることを特徴とする、請求項1に記載のシブトラミンのスルホン酸塩。

【請求項 7】

不活性溶媒中でシブトラミンに、ベンゼンスルホン酸、カンファースルホン酸、p-トルエンスルホン酸、エタンジスルホン酸およびエタンスルホン酸の中から選択されるスルホン酸を反応させる段階を含み、請求項1に記載の化学式1で表されるシブトラミンのスルホン酸塩を製造する方法。

【請求項 8】

請求項1～6のいずれかに記載の化学式1で表されるシブトラミンのスルホン酸塩および薬学的に許容可能な希釈剤または担体を含有してなる薬学的組成物。

【請求項 9】

錠剤またはカプセル剤の剤形であることを特徴とする、請求項8に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

薬学的組成物が、肥満および肥満関連疾患、うつ病、パーキンソン病、インスリン非依存性糖尿病または癲癇を治療または予防するためのものである請求項8又は9に記載の薬学的組成物。